

■ 腰・首の痛み、手足の痺れ・歩きにくさ（脊椎・脊髄疾患）

- ✓腰痛・足の痺れの原因に椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症などがあり、起き上がれないほどの痛みがある場合や長い間症状が続く場合は注意が必要です。
- ✓首の痛みや手の痺れの原因には中高齢者の場合は首の骨の変化によるものが多いといわれています。さらに症状が悪くなると手足の痺れがひどくなり、歩きにくさも認め始めます。そのような場合は専門医を受診しましょう。

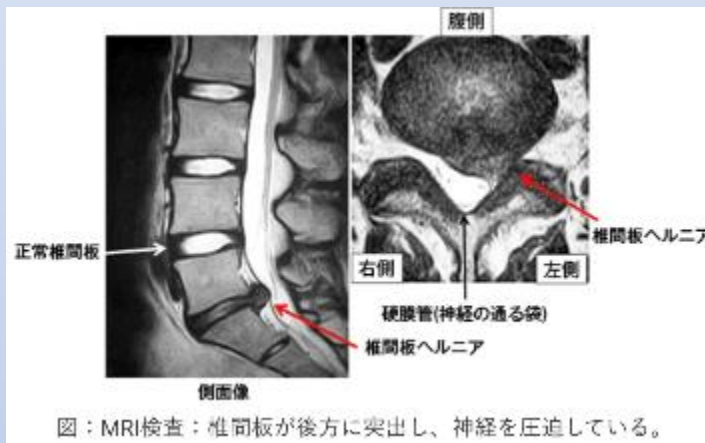
治療法（軽度～重度に応じて）

① 保存療法

鎮痛剤、筋力訓練、ブロック注射、装具療法

② 手術療法

i 椎間板ヘルニア（首・腰）



青壮年者にみられる事が多く腰痛、下肢のしびれ・痛みが生じます。MRIを行うことで診断できます。

当院では内視鏡や拡大鏡を用いてヘルニアを摘出します。

ii 脊柱管狭窄症（腰）



50歳以降にみられる事が多く、神経の通り道である脊柱管が狭くなることによって、腰痛、下肢のしびれ・痛みが生じます。MRIを行うことで診断できます。当院では内視鏡や拡大鏡を用いて神経の通り道を拡大します。不安定性(グラつき)がある場合は固定が必要な場合があります。

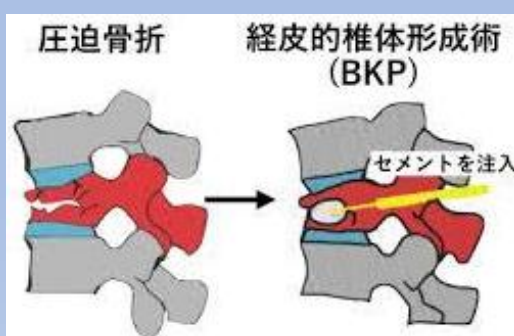
iii 頸髄症（首）



腰と同じように50歳以降にみられる事が多く、神経の通り道である脊柱管が狭くなることによって、手足ののしびれ・歩きにくさが生じます。MRIを行うことで診断できます。

当院では拡大鏡を用いて神経の通り道を拡大します。

iv 椎体骨折（背骨の骨折）



高齢者や骨粗鬆症(骨が弱い)患者にみられる事が多く、尻餅や重いものを持った程度の負担で椎体骨折(背骨の骨折)が生じます。コルセットのみで痛みが強い場合は、当院では20分程度のセメント治療を行います。骨折部を安定化させる事により痛みが劇的に改善します。

✓ 首・腰の症状でお悩みの方は是非一度、外来へお越しください。